

キャリア教育だより

群馬県立聾学校 進路指導部

令和6年7月19日発行 No.2

今年度も高等部卒業予定者への求人が何社からも届いています。法定雇用率の上昇だけでなく、長年勤めていたろう者が定年を迎えるケースもあるようです。ろう者が働く環境は、文字変換アプリを使用したり、社内で手話講座を開催したりして良くなってきています。しかし、就業体験での様子を見ると、仕事の指示や作業手順に関しては不都合がない生徒でも、休憩時間などでのコミュニケーションがうまくとれずにストレスを感じてしまうことがあります。

困った時に相談できる力や自分なりのストレス発散方法などを早いうちから身につけられると良いとのお話は企業の方からもいただいています。夏休みには様々なことを経験して、成功や失敗を通して大きく成長してください。



◆幼稚部◆

6月15日(土)保育参観を行いました。父の日の前日ということもありたくさんのお父さんが来てくれました。お父さんの好きなことや得意なことを、実物を見せたり一緒にしてみたりしながら話していただきました。普段見ることのないものにみんな興味津々で身を乗り出して見入っていました。また、遊戯室では一緒に手遊びや体を使った遊びをしました。お父さんの力強さを全身で感じていたようです。参観の最後には、お父さんの似顔絵や手作りのうちわをプレゼントしました。お父さんも子どもも笑顔いっぱいの日でした。



◆小学部◆

6年生は、6月27日(木)・28日(金)に東京方面へ修学旅行に行きました。テレビ朝日や国会議事堂の見学ではスタッフさんや守衛さんの丁寧な説明で、テレビ番組の作られ方、法律や予算の決め方などを学ぶことができました。また大勢の人が仕事にかかわって出来上がっていくことも知る貴重な機会になったようです。東京駅、皇居外苑、東京タワーでも歴史や生活文化にふれ、学びの多い2日間となりました。

5年生は、7月4日(木)・5日(金)に宿泊学習で、上野村方面に行きました。自然とのふれあいを通して、自然環境に関心を持つことができました。また、自分の役割をしっかりと果たしながら宿泊体験をし、友だちと協力して楽しく学習することができました。



◆ 中学部 ◆

3年生は、6月5日（水）～7日（金）に修学旅行で京都へ行きました。「歴史への興味関心を高め、伝統文化を知る」「集団生活や公衆道徳を体験から学ぶ」という目的のもと、生徒たちはたくさんの歴史的な寺社仏閣を見学しました。旅行中はマナーを守って公共交通機関を利用しながら移動し、無事見学を終えて帰り着くことができました。教科書に載っている有名な仏像や建物の本物に初めて触れ、その驚きや印象の違いを日誌に記録した生徒もいました。また、生徒同士のグループで広い市内や京都駅内を散策・見学できたことも、新鮮で得がたい経験だったようです。さらに7月には長野県の長野ろう学校とのオンライン交流会の中で、お互いの修学旅行での経験を報告し合うことができました。

長い歴史の中、現代社会の中で生活している実感を持つことは、生徒たちが将来自立し社会生活を営んでいく上での貴重な経験となったことと思います。



◆ 高等部 ◆

7月11日（木）企業採用担当者学校見学会に、20社の人事担当者が来校してくださいました。学校概要説明の後、2グループに分かれ、企業の方には聾学校の生徒を知ってもらい、また、生徒は自分の考えをしっかりと伝えることをねらいとして、質疑応答を主とした懇談会を実施しました。企業の方からは、「学校生活で力をいれていること」「将来の夢や好きなこと」をはじめ、「嫌なことがあった時の対処法」「聞こえない、聞きづらい時の工夫」「普段苦勞していること」などの質問がありました。それぞれの生徒が、自分の聞こえを理解した上で、自分の言葉で説明できていました。

参加していただいた担当者からは「一人一人の聞こえ方が違い、コミュニケーションでの困り感も異なることがわかった」「質疑応答を通して、どのような支援が必要になるのか改めて考える機会になった」などの感想をいただきました。



◆ 寄宿舍 ◆

5月2日（金）に学校周辺の地域清掃を行いました。前日は雨が降っていて無事に実施できるか見通しが立たなかったのですが、当日は実によい日和で地域清掃を行うことができ、近所の方にも気持ちの良い挨拶ができました。清掃活動などを通して、地域とつながり、進んで社会参加する力を育てています。

